

## 持続可能な観光振興に向けた財源確保に関するアンケート

### ● 属性に課する集計

発送件数：221件

回答：60件

#### Q1.業態

|     |    |        |
|-----|----|--------|
| 旅館  | 35 | 58.3%  |
| ホテル | 4  | 6.7%   |
| 民宿  | 4  | 6.7%   |
| 民泊  | 5  | 8.3%   |
| その他 | 12 | 20.0%  |
|     | 60 | 100.0% |

コテージ、1棟貸し、簡易宿泊所

#### Q2.客室数

|        |    |        |
|--------|----|--------|
| 10室未満  | 41 | 68.3%  |
| 10～19室 | 14 | 23.3%  |
| 20～29室 | 1  | 1.7%   |
| 30室以上  | 4  | 6.7%   |
|        | 60 | 100.0% |

#### Q3.入湯税の徴収

|       |    |        |
|-------|----|--------|
| している  | 34 | 56.7%  |
| していない | 26 | 43.3%  |
|       | 60 | 100.0% |

#### Q4.説明会の参加

|       |    |        |
|-------|----|--------|
| した    | 8  | 13.3%  |
| していない | 52 | 86.7%  |
|       | 60 | 100.0% |

### ● 観光財源の使い道

Q5.観光地の魅力向上のため、財源を投資すべき分野（複数回答）

|                   |    |       |
|-------------------|----|-------|
| 公共交通機関の利便性向上      | 28 | 46.7% |
| 道路等のインフラ整備        | 22 | 36.7% |
| 観光プロモーション         | 19 | 31.7% |
| 観光資源(歴史・文化)の保全・活用 | 18 | 30.0% |
| 公衆トイレの整備          | 15 | 25.0% |
| 各種補助金の創設          | 15 | 25.0% |
| 人材育成、サービス向上       | 8  | 13.3% |
| 観光のデジタル化          | 7  | 11.7% |
| 防災・避難体制の強化        | 6  | 10.0% |
| その他               | 7  | 11.7% |



145 241.7% ※複数回答のため100%を超える

- ・全天候対応スポット / ・目玉となるような観光施設を作る
- ・フレキシブルでいい / ・新しい食材（養殖事業）の誘致、促進
- ・レンタサイクル / ・日帰り温泉 / ・なし

● 財源確保の手法

Q6.観光財源の確保として望ましい方法（複数回答）

|              |    |       |
|--------------|----|-------|
| 寄附金          | 35 | 58.3% |
| 一般財源の見直し     | 29 | 48.3% |
| 公共施設使用料等の値上げ | 9  | 15.0% |
| 宿泊税の導入       | 7  | 11.7% |
| 入湯税の増税       | 4  | 6.7%  |
| 財源確保の必要はない   | 4  | 6.7%  |
| その他          | 4  | 6.7%  |



92 153.3% ※複数回答のため100%を超える

ウルトラマラソンに参加する人から参加料として徴収

財源がどれほどあって、どれだけ足りないのか示してほしい

Q7.宿泊税の導入で懸念される点（宿泊税を選ばなかった人）（複数回答）

|             |    |       |
|-------------|----|-------|
| 宿泊税導入による客離れ | 36 | 60.0% |
| 使途の不明確さ     | 28 | 46.7% |
| 徴収等の事務負担    | 24 | 40.0% |
| 新たな税導入への抵抗感 | 23 | 38.3% |
| 入湯税との二重負担感  | 18 | 30.0% |
| その他         | 1  | 1.7%  |



130 216.7% ※複数回答のため100%を超える

チェックインの無人システムを導入している施設での徴収方法

● 宿泊税の詳細検討（仮に導入する場合）

Q8.適切な課税方式

|     |    |       |
|-----|----|-------|
| 定額制 | 38 | 70.4% |
| 定率制 | 7  | 13.0% |
| その他 | 9  | 16.7% |



54 100.0%

宿泊税は不適當

定率制の税率（宿泊価格の〇%）

|    |   |       |
|----|---|-------|
| 0% | 0 | 0.0%  |
| 1% | 2 | 50.0% |
| 2% | 0 | 0.0%  |
| 3% | 1 | 25.0% |
| 4% | 0 | 0.0%  |
| 5% | 1 | 25.0% |

4 100.0%

## 定額制の金額の幅

### 下限

|       |    |       |
|-------|----|-------|
| 0     | 1  | 3.6%  |
| 100   | 8  | 28.6% |
| 200   | 15 | 53.6% |
| 300   | 2  | 7.1%  |
| 400   | 0  | 0.0%  |
| 500   | 1  | 3.6%  |
| 1,000 | 1  | 3.6%  |

28 100.0%

### 上限

|       |    |       |
|-------|----|-------|
| 0     | 1  | 3.8%  |
| 100   | 2  | 7.7%  |
| 200   | 4  | 15.4% |
| 300   | 5  | 19.2% |
| 400   | 0  | 0.0%  |
| 500   | 10 | 38.5% |
| 1,000 | 4  | 15.4% |

26 100.0%

## Q9.宿泊税導入の際の「配慮事項」（複数回答）

|               |    |       |
|---------------|----|-------|
| 徴収・納付事務の簡素化   | 26 | 43.3% |
| 宿泊者への周知・広報    | 26 | 43.3% |
| 使途の明確化と成果の公表  | 25 | 41.7% |
| 入湯税との二重負担感の解消 | 16 | 26.7% |
| 宿泊料金に対する税額の割合 | 4  | 6.7%  |
| その他           | 4  | 6.7%  |



101 168.3% ※複数回答のため100%を超える

- ・ 宿泊事業者が徴収するのではなく、OTAや代理店が事前決裁で徴収すべき。
- ・ オンライン事前決裁のみのため、チェックイン時に別途宿泊税の徴収は負担。

（①客に伝える負担、②小銭を用意する負担）

## Q10.必要と思われる支援策（複数回答）

|                  |    |       |
|------------------|----|-------|
| 予約サイトで自動徴収       | 24 | 40.0% |
| 告知用ツール           | 20 | 33.3% |
| 電子納付,ネット上での申告・納付 | 15 | 25.0% |
| 補助や還付制度          | 15 | 25.0% |
| 事務負担がある限り対応困難    | 12 | 20.0% |
| マニュアルやQ&A        | 3  | 5.0%  |
| 相談窓口             | 1  | 1.7%  |
| その他              | 5  | 8.3%  |



95 158.3% ※複数回答のため100%を超える

- ・ 会計システムの変更に伴う多額の費用への補助
- ・ 「宿泊料金に含める」では実質的に宿の負担になるので、「宿泊料金に追加・上乗せ」
- ・ 何にしても負担     /     ・ 分かりません

## 自由記述の意見の集約

### ● 賛成、反対等の意見の分類

| 意見の大別       | 件数 | 割合    | No.             |
|-------------|----|-------|-----------------|
| 肯定的         | 1件 | 6.7%  | 7               |
| 慎重・条件付き     | 4件 | 26.7% | 5,9,11,15       |
| 否定的         | 6件 | 33.3% | 2,4,13,14,16,17 |
| 提案や要望（賛否不明） | 6件 | 40.0% | 1,3,6,8,10,12   |

否定的な意見には、宿泊税そのものを不要とする意見に加え、使途、必要額、既存財源との関係、事業者負担及び導入後の検証方法が明確でない現段階では賛成できないとの意見が含まれている。

また、慎重な意見や賛否を明示していない意見からは、宿泊税以外の財源の検討、宿泊者だけに偏らない負担、オンライン徴収、税収の地域還元、使途の明確化、丁寧な説明などの意見が含まれている。

### ● 観光財源の必要性に関する意見

|   |                                                                              |
|---|------------------------------------------------------------------------------|
| ⑤ | ・説明会を通じて財源確保の難しさは理解した。ただし、できれば宿泊税以外の方法で対応してほしい。財源を確保できる場合は、駅から宿までのバス整備を希望する。 |
| ⑦ | ・観光事業環境の維持・発展のための投資と財源確保は表裏一体であり、事業者、行政、受益者によるバランスのよい取組が必要である。               |
| ⑩ | ・現段階での宿泊税導入には反対だが、観光振興のために安定した財源が必要であるという考え方そのものは否定しない。                      |

### ● 財源確保の必要性は明言していないが、財源確保の方法や活用方法を提案している意見

|   |                                              |
|---|----------------------------------------------|
| ④ | ・既存税収や観光公社の会費・予約サイト収入を活用すべき。                 |
| ⑨ | ・宿泊税が避けられない場合は、宿泊者だけでなくイベント・レジャー客にも負担を求めるべき。 |
| ⑩ | ・ふるさと納税を観光地整備に活用することが望ましい。                   |
| ⑫ | ・入湯税を観光振興にどの程度活用できるのか、使途を明確にすべき。             |
| ⑭ | ・地域課題に対して何にいくら不足しているかを調査・試算すべき。              |
| ⑮ | ・宿泊税を財源とする場合は、徴収地域の観光振興に活用してほしい。             |

| No. | Q11.自由記述                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 観光資源があるにもかかわらず、活用しきれてないと思う。<br>お客さんに気持ち良く来てもらえる事<br>トイレは何処に行ってもキレイ<br>見苦しい道路の路肩の草や木の整備<br>ジオパークなのに、木が邪魔をして景観が悪い等々、真剣に考えて欲しい                                                                                                                                               |
| 2   | 宿泊税導入には反対                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 3   | 設問の多くが導入ありきのものが多く誘導されているように感じます。答えにくいです。                                                                                                                                                                                                                                  |
| 4   | 消費税、法人税等から適切に徴収し、必要な政策にあてるべき。<br>あるいは、観光公社の会費や予約サイトなどからの収入を高めるべき。<br>税化は営業努力なしに、一方的に徴収できるから公社からすれば楽かもしれないが、大手OTAに負けないように観光公社が努力すれば、宿泊税は不要。<br>観光公社の営業努力を応援しています。                                                                                                          |
| 5   | 説明会参加で財源確保の難しさは理解しましたが宿泊税なしでどうにかできないかと思います。ただ良い案思い浮かびません。<br>もし財源確保できるなら駅から宿へのバスがあるといいなと思います。                                                                                                                                                                             |
| 6   | オンライン説明会でも録画でも良いので説明会して欲しいです。<br>末端にきちんと説明して下さい。                                                                                                                                                                                                                          |
| 7   | 観光事業環境の維持・発展のための投資と財源の確保は表裏一体のことだと思います。事業所の努力、行政の頑張り、さらに受益者負担、三位一体、バランスのいい取り組みが必要と考えます。                                                                                                                                                                                   |
| 8   | 自然をもっと大切にしよう検討して欲しい。京丹後市らしさを前面に出して下さい。                                                                                                                                                                                                                                    |
| 9   | 財源がどうしてもないなら仕方ないが、伊根や城崎などの有名観光地なら宿泊税を取ってもお客さんは来るでしょうが、京丹後市ではお客さんが逃げると思っています。ただでさえ、物価高で値上げしてお客さんが減っているのに、余計に減ると思う。それでも取らないといけないなら、宿泊だけでなく、京丹後市のイベント・レジャーに来る人からも取る仕組みを作って欲しい。ウルトラマラソン参加者、海水浴場の駐車場料金、日帰り入浴施設など。                                                              |
| 10  | ふるさと納税を活用するのが望ましい。<br>返礼品に宿泊券を選ぶ人が多い→「観光地の整備」安堵を利用目的にしてくれる方が一定数いるのではないかな。                                                                                                                                                                                                 |
| 11  | 一棟貸しは現地徴収ができない為、ネット徴収が可能な制度として下さい                                                                                                                                                                                                                                         |
| 12  | 入湯税が温泉施設関連に重点的に使用されるとのことですが、観光振興のためにどれぐらい利用できるのか。利用範囲が、明確になっているのでしょうか？                                                                                                                                                                                                    |
| 13  | 無意味                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 14  | 新たな税負担を求める以上、使途の透明性と必要性の客観的な裏付けが不可欠だと思います。単に「観光振興のため」といった大まかな方針だけでなく、実際に地域の課題(二次交通の維持など)に対して「何にいくら不足しているのか」を事前によく調査・試算した上で議論を進めるべきだと考えます。具体的な必要額や事業計画が示されない形での導入には反対いたします。                                                                                                |
| 15  | 【観光振興課】お客様からの問い合わせが特に多いもの。<br>・レンタサイクル→駅でしか借りれず、駅から歩いて来られた方は絶望です。「LUUP」のように町内にいくつかの拠点があると利用しやすい。<br>・日帰り温泉→以前は静の里をご案内していました。小規模になっても、浅茂川エリア(海水浴、釣り)に温泉があるのは強み。<br>【財源検討】宿泊税を財源とする場合、浅茂川エリアでの宿泊税は、浅茂川エリアの観光振興に使って欲しい。<br>説明会に参加できず残念です。今後、宿泊税について意見交換会などを行っていただけるとありがたいです。 |

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 16 | <p>市内で宿泊施設を経営する事業者として、現段階での宿泊税導入には反対します。</p> <p>観光振興のために安定した財源が必要であるという考え方そのものを否定するものではありません。</p> <p>意見交換会では、宿泊税の具体的な市と、必要額、課税方式、徴収・納付方法、宿泊事業者の負担など制度を判断する上で重要な部分がまだ決まっていないとの説明がありました。</p> <p>その状態で、先に「宿泊税を導入する」という方向へ議論をする目には疑問を感じます。</p> <p>特に次の点について十分な検討が必要だと考えます。</p> <p>第一に、項丹後市では宿泊者数が31万人から28万人に、日帰り客も154万人から141万人に減少しているとの説明がありました。観光客が増えすぎて困っている地域とは状況が異なります。今必要なのは、新しい税を徴収することよりも、まずは京丹後市を訪れる人、宿泊をする人を増やすための施策ではないでしょうか。</p> <p>宿泊客が減少している中で宿泊時に負担を増やすことが、本当に観光振興につながるかを十分に検証していただきたいです。</p> <p>第二に、宿泊税を徴収する実務派宿泊施設が担うことになります。宿泊者への説明、徴収、会計処理、申告、問い合わせやクレーム対応など、金額だけでは表れない負担が発生します。特に京丹後市には、小規模な宿泊施設や家族経営の施設、恒例の経営者も多くあります。新しい事務作業やシステム対応が増えることによって、地域の宿泊事業者をさらに疲弊させる制度になってしまえば、本来の観光振興とは逆の結果になりかねません。</p> <p>第三に、宿泊税を導入する前に、「何に、いくら必要なのか」を具体的に示して頂きたいです。現在も入湯税があり、観光関連予算や観光公社による事業も行われています。「この事業を実施するために年間〇〇円必要であり、現在の財源では〇〇円不足する。そのため宿泊税が必要である」というところまで具体的に説明した上で初めて、宿泊税が必要かどうかを判断できるのでは無いでしょうか。「財源が必要だから税を作り、その後で使途を考える」という順序では賛成できません。</p> <p>第四に、導入する場合の検証方法や廃止条件も、導入前に決めておく必要があると考えます。</p> <p>宿泊税によって何を改善するのか、宿泊者数や観光消費額をどこまで増やすのか、その結果を毎年どのように検証するのか。そして、期待した効果が得られなかった場合には事業を中止するのか、宿泊税そのものを見直すのか。ここまでを制度導入前に明確にしていきたいと思います。</p> <p>一度導入された税が、十分な検証もないまま恒久化したり、将来的に税額だけが引き上げられたりすることへの不安もあります。</p> <p>私は、観光振興に反対しているものではありません。むしろ、宿泊事業者として、京丹後市に多くのお客様に来ていただき、地域全体がよくなって欲しいと思っています。だからこそ</p> <p>「宿泊税を取る」という議論を始めるのではなく、「京丹後市の観光に何が必要なのか」「その事業にいくら必要なのか」「既存の予算ではなぜできないのか」「宿泊税によってどの程度の効果が期待できるのか」「宿泊事業者はどれだけの負担が発生するのか」これらを具体的に示したうえで、宿泊税を導入しない選択肢も含めて判断いただきたいです。</p> <p>以上の理由から、私は少なくとも、現段階での京丹後市での宿泊税導入には反対します。</p> <p>宿泊税ありきで議論を進めるのではなく、まず既存事業・既存財源を検証し、宿泊客を府yす施策を優先した上で、本当に必要な税なのかを改めて検討していただくようお願いします。</p> |
| 17 | <p>まだそこまで、オーバーツーリズムになっていないこの地域にて、宿泊税の徴収を行うのは、よりお客様を遠ざけるきっかけになると思われます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |